

JAPANPACK2025 包装システムの IOT 標準

JPack-Fmt

「異なる機械、言葉は揃う」

包装機械の IoT 化で重要なのは、機械同士をつなぐことだけではありません。言葉やデータの意味をそろえることで、同じ理解で活用でき、はじめて真の「見える化」が実現します。

本展示では、6 社の異なる包装機械が、日本包装機械工業会 IoT WG が策定した「IoT 標準化指針 JPack-Fmt (ジェイパック・フォーマット)」という共通言語でデータ連携。ダッシュボード上に同じ形式で可視化しています。データを統一することで、工場・ライン・機種が異なっても同じ内容として取り込めるため、精度の高い工程改善が可能になり、生産性と品質を同時に高められます。

JPack-Fmt とは？

JPack-Fmt は、日本包装機械工業会が策定した包装機械業界向けの標準データ交換フォーマットです。

これまではメーカーごとに独自の技術が使われ、OEE 算出基準の差異によりデータの共有が困難でした。この問題を解決し、運転時間・出来高などの基データを統一することで工数削減と相互ベンチマーキングを実現する、大手から中小企業まで活用できる「共通言語」として開発されました。

詳しくは <https://www.jpac-kfmt.com>



「単体で強い」から「つながって強い」へ



Photos are designed by AI